

I 全体計画の推進体制について



1 区計画の推進体制について

地域福祉保健計画は、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザの取組をはじめ、区民、関係団体等の幅広い活動が対象となります。そのため、その推進にあたっては、様々な関係者、活動者が連携していく必要があります。

第2期港南区地域福祉保健計画を策定するにあたり、「港南区地域福祉保健計画策定・推進委員会」を組織しましたが、引き続き、港南区の地域活動や福祉保健サービスが円滑に行われていくよう体制を維持し、港南区の地域福祉保健計画の推進や評価を総合的に協議する場として位置づけます。

その上で、毎年行う「港南区地域福祉保健計画推進フォーラム」や各地区で行われている福祉保健活動の事例紹介を強化し、幅広く福祉保健活動者の方の意見を伺いながら、各年度の推進状況を把握、評価していきます。

II 地区別計画の推進体制について



1 地区別計画はどのように進めていくの？

地区別計画は、15の連合町内会(地区社会福祉協議会)のエリアごとに、地域支えあいネットワークや連合町内会、地区社会福祉協議会が中心となり、福祉保健活動を行っている人たちが参加し、策定を進めてきました。引き続き、推進主体として取り組んでいただきますが、計画を実現・充実させていくためには、住民一人ひとりの参加が欠かせません。

すでに、各地区では、様々な団体により福祉保健活動が行われています。地区別計画は、この活動が継続的に行われることで推進されます。また、新たな参加者を増やしたり、団体同士で連携を深めたりすることで活動の充実につながります。

地区別計画の策定後、すでに推進の取組が始まっている地域があります。計画の推進主体者としてどのような役割が求められているか、事例を紹介します。

個人

地域の状況や地域で行われている活動に興味を持ちましょう。そして、できる範囲で活動に参加しましょう。

各活動団体

広報活動などで、自分たちの取組や活動内容を積極的に周知し、活動の参加者や担い手を増やすきっかけをつくりましょう。今、行われている活動を継続させ、充実・拡大に向けての準備を進めていきましょう。

地区全体の取組

各団体がそれぞれの目標を実現するために取り組むことも重要ですが、その地区全体の取組の方向性を共有することも必要です。各団体の活動者が集まり、地区別計画の目標実現に向けて必要なことを決定し、取組を進めていきましょう。

地区で活躍している委嘱委員や活動団体の活動内容を多くの住民や活動者同士で共有するため、意見交換会や情報共有の機会を設けるのも一つの方法です。

意見交換会や情報交換会を通して団体間の連携が深まり、地域課題の再認識や新たなネットワークや活動が生まれています。



日野第一ふれあいフェスタ

地域みんながつどい、安心安全なまちづくりや地域の輪の広がりを目指して、自治会町内会、地区社会福祉協議会、各種団体、小・中学校、行政機関などが多数参加するフェスティバルです。吉原小学校を会場に、日頃の活動を披露し、あらゆる世代が交流できる催しが盛りだくさんです。会場では日野第一

地区地域福祉保健計画や身近な活動紹介を展示して、活動への参加者や担い手を募集しています。また、車いす体験やコミュニケーションの大切さをテーマにした催しなど、地域のつながりづくりを進めています。



みんなで上大岡を考える会

自治会町内会・地区社会福祉協議会・各団体のメンバーで地区別計画を策定しました。支えあうまちを目指し、計画を推進するため、関係団体が集まり、地域の問題や解決策をみんなで考える会を発足しました。高齢者・子ども・防災など地域の問題をテーマに、区民がつどい様々な意見を出し

合い、地域全体が協力して計画を推進しています。

2 計画の振り返り

地区別計画の目標に対して、各団体がどのような役割を果たせたか、また、どんな団体と連携できたかなど、団体同士で話し合い、翌年の推進に役立てていくことも重要です。

まずは、今行われている活動を継続させていくことを大前提に、活動を充実、拡大させていくための取組を重ねていくことが、地区別計画の推進につながります。

3 地区別計画推進の支援体制について

区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザで支援チームをつくり、地区の活動を支援していきます。

地域福祉保健計画の対象は、お祭り、清掃活動、防災、子育て、高齢者支援など様々なものです。

様々な制度や仕組みが重なり合っているものが多いため、組織を越えたチームで地域の情報を共有することで、地区の活動を総合的に支援することを目的としています。進捗状況の管理や具体的な取組は、この支援チームが事務局として行っていきます。

また、各地区の計画推進主体の代表者が集い、推進の状況や課題について情報共有を行う「地区別計画推進連絡会(仮称)」の開催や、各地区での取組を紹介する場の設定や広報活動など、区全体で推進活動が行われるよう取り組んでいきます。

第2期計画推進のイメージ…全体計画と地区別計画の取組で第2期計画を推進します。

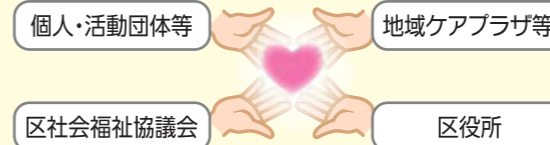
地域福祉保健計画策定・推進委員会

区内福祉保健活動団体の代表者、学識経験者、行政委員による地域福祉保健計画の評価

報告

地域福祉保健推進会議

全体計画の推進体制



全体計画は、各取組主体の活動により推進します。

- 個人、活動団体等の取組
- 区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等の取組
- 地域福祉保健計画推進フォーラム
- 意見交換会、事例集の発行 等

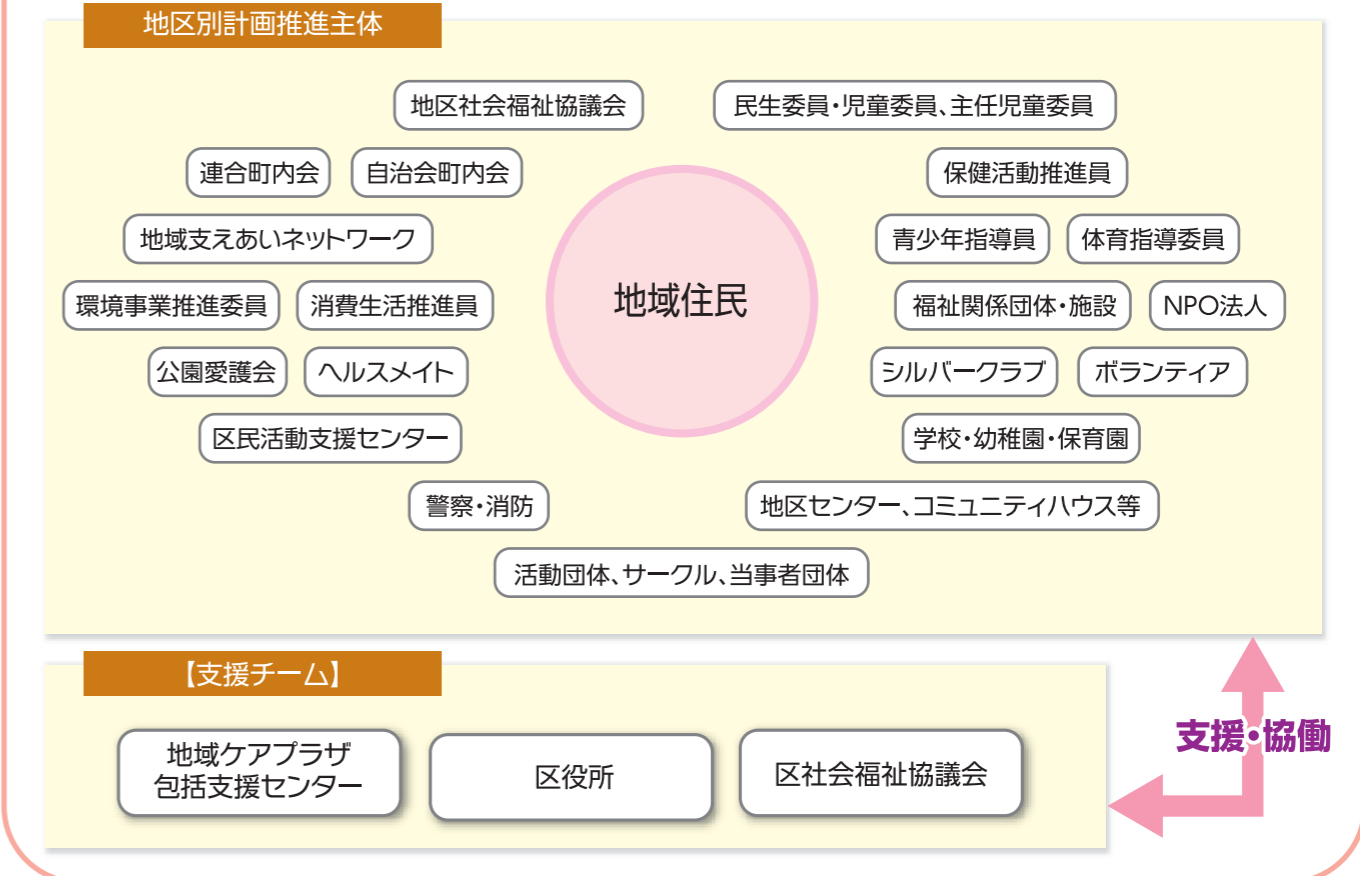
地区別計画推進連絡会【仮称】

15地区の地区別計画推進主体の代表者による推進状況の情報交換や意見交換

15地区ごとの推進体制をイメージしています。推進主体の構成は一例であり、各地区の実情に応じて異なります。

【地区別計画の推進体制 (A地区の例)】

地区別計画は、地区の様々な団体の活動により推進します。





大岡川クリーンアップ

大久保最戸地区、上大岡地区及び笹下地区の地域関係者が行ってきた清掃活動に、地区の小学生や中学生、保護者などが加わり、千人余りで大岡川の清掃と護岸の花壇づくりを行っています。それぞれの地区で子どもの頃から地域活動へ参加することに取り組み、町の美化活動を実践しています。



港南区子育て連絡会

港南区内の子育て支援団体がネットワークを持ち、よりよい子育て支援を行えるよう連絡会を開催しています。情報交換、子育て講演会の企画、子育て情報紙(こうなんまっぷっぷ)の作成や、ニュースレター(毎月)発行などを行っています。民生委員・児童委員、主任児童委員、保育園、子育てに関わる団体など約40グループが参加しています。



日下地区ささえあい訪問事業

一人暮らし等高齢者を民生委員・児童委員、保健活動推進員、友愛活動推進員、ボランティアがチームで見守り訪問を行っています。定期的に訪問し相談に応じることで、必要なサービスにつながるなど、安心して地域で過ごせる体制づくりをめざしています。



フリースポットながの・丸山台

中学生の居場所として、永野小学校と丸山台中学校の2か所で月1回土曜日に学校内の部屋を開放しています。参加した中学生は、おしゃべりやゲーム、卓球などを楽しんでいます。自治会町内会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、少年補導員などが学校と連携して運営しています。



「日野南みちの会」防犯パトロール

できる日できる時間帯にボランティアが集まり、井戸端会議をしながら町内を巡回するスタイルで続けたことで、地域内の空き巣被害を激減させました。また、町の交番の役割を持つ「安全安心ステーション」を防犯拠点として設置しています。



港南区障害者団体連絡会

港南区内の障害者団体が団体同士のつながりを深めながら、地域の障害者の社会参加・地位向上を目指しています。ボーリング大会やバスハイクなどの行事を行っています。ふれあいスポーツ大会では、地域のボランティアや中学生も参加しており、障害の理解と担い手の育成にもつながっています。